



## 第2回「日本医師会 赤ひげ大賞」概要

「日本医師会 赤ひげ大賞」は、公益社団法人日本医師会と産経新聞社が主催となり「地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当てて顕彰すること」を目的として、ジャパンワクチン株式会社の特別協賛、厚生労働省、フジテレビジョン、BSフジの後援の下、平成24年に創設されました。各都道府県医師会から1名の候補者を推薦していただき、選考委員の厳正な協議を経て、第2回「日本医師会 赤ひげ大賞」の受賞者5名が決定しました。

- 主 催** 日本医師会、産経新聞社
- 後 援** 厚生労働省、フジテレビジョン、BSフジ
- 特別協賛** ジャパンワクチン株式会社
- 対 象 者** 日本医師会の会員及び都道府県医師会の会員で現役の医師。  
ただし、現職の都道府県医師会役員は除く。原則として、70歳未満の方を優先。
- 推薦方法** 各都道府県医師会会長が1名を推薦
- 推薦基準**
- 過疎の医療現場、特にへき地や辺地、離島などで、住民を支えている医師
  - 障害をもった方や高齢者が安心して暮らせるような活動を行っている医師
  - 地域における学校保健活動、公衆衛生活動を通じ、特段に地域住民の健康管理を推進している医師
  - 医療環境整備や社会活動を通じてまちづくりへ貢献している医師
- 選考委員**
- 羽毛田 信吾 (昭和館館長、宮内庁参与)  
向井 千秋 (宇宙航空研究開発機構特任参与)  
山田 邦子 (タレント)  
小林 光恵 (作家)  
原 徳壽 (厚生労働省医政局長)  
外山 衆司 (産経新聞社専務取締役)  
河合 雅司 (産経新聞社論説委員) 他日医役員等